

コード	301030301
記入日:	H21.6.9

課コード	132
課名	若松診療所
課長名	山本一光
担当者	荒木哲郎

事務事業途中評価表

作成年度	平成 22 年度
------	----------

評価対象事業名称	若松国保診療所管理運営事務費
----------	----------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 21 年度 ~ 平成 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	3	政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実	款コード	1
施策コード	301	施策名称	健康を守りつくる保健・医療の充実	項コード	1
基本事業コード	30103	基本事業名称	地域医療体制の充実	目コード	1
事務事業コード	3010303	事務事業名称	国民健康保険診療所特別会計事業費	細目コード	
関連計画	医療体制再編計画	法令・条例規則等	新上五島町国民健康保険診療所条例		

計画(PLAN) ※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象:誰、何を対象にしているのか		対象指標:対象の大きさを表す指標					
(対象1)	通院可能地区の住民	(対象指標1)	約3,500名				
(対象2)		(対象指標2)					
事業の概要:具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標:事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)					
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
*****	光熱費・委託料等の一般管理費:10,686千円 研究研修費:283千円 薬剤購入等の医薬費:41,496千円 給食材料等の給食費:2,848千円 施設整備費:1,172千円	*****	*****	*****	診療日数/診療予定日数	*****	
		①	診療日数	365日	100%		平成21年度
		(達成率分析)	当初計画どおりに事業が行えた。				
		*****	*****	*****	*****	*****	
		②					
		(達成率分析)					
目的:何をしたいのか		成果指標:目的の達成度を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)					
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
		*****	*****	*****	延べ入院患者数/昨年度延べ入院患者数	*****	
		①	延べ入院患者数	1,824人	70.8%		平成21年度
		(達成率分析)	地区外への入院が増加しているためと思われる。				
		*****	*****	*****	延べ外来患者数/昨年度延べ外来患者数	*****	
		②	延べ外来患者数	11,328人	83.5%		平成21年度
		(達成率分析)	地区内人口の減少と、専門医受診傾向が強くなっていることが影響していると思われる。				

実施(DO) ※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		平成20年度以前	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	
活動指標	① 日	365	365	365	365	365					
	②										
成果指標	① 人	23,399	19,980	18,156	2,578	1,824					
	② 人	78,890	75,453	64,135	13,569	11,328					
総事業費C (A+B)	千円	1,396,033	1,400,108	1,174,145	221,888	225,963					
直接事業費 A	千円	857,033	861,108	733,145	123,888	127,963					
人件費 B	千円	539,000	539,000	441,000	98,000	98,000					
内訳	従事職員数	人	77.0	77.0	63.0	14.0	14.0				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円	396,241	290,477	290,477	105,764					
一般財源	千円	999,792	1,109,631	883,668	116,124	225,963					

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	地域の医療を充実させるために必要である。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	人口減少等により受診件数は減少傾向にあるが、事業を廃止することはできない。
	事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由	住民の健康の維持・増進のためであり適切である。
有効性	現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由	地域医療の確保という点で成果をもたらしている。
	成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由	医療内容、医療機器の整備、待ち時間の短縮など、患者のニーズに合わせたサービスの提供により可能である。
	事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由	地域住民の健康に対する不安の増大、利便性の低下による経済的・精神的負担の増加などが懸念される。
	類似事業との整理統合はできませんか。	●できる ●できない	理由	他に類似事業はない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	事業費の大きな割合を占める医薬材料費をはじめ、物品の購入・委託契約等において見積り等の徴収などにより可能な限り経費削減を行っているが、これ以上の削減は事業効果にも影響を与える。
	人件費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	10月からの入院病床廃止により、臨時職員の賃金削減は可能である。
	受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由	医療保険制度に則っており、受益者負担は適正である。

改善(ACTION)

改善策	1次評価	妥当性	町民が安心して生活していくためには、医療体制の整備・充実は不可欠である。
		有効性	地区にとって唯一の医療機関である。
		効率性	最小限の経費で事業を行っている。
		課題に向けた改善策	10月から入院病床が廃止されるが、外来は現在の形態を維持していく。
	2次評価	妥当性	1次評価のとおり
有効性		現在、住民の健康不安に答えられる状態であるが、平成22年10月からの無床化に向け体制整備を行い、医療サービスに最大限支障をきたすことのないように努めること。	
効率性		無床化により経費の節減を図るとともに適正な執行に努めること。	

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●			このまま事業を継続				類似事業と整理統合
		●		事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
			事業費を見直して事業を継続					事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。